

環境活動 レポート



作成 2024年5月1日
対象期間 2023年4月～2024年3月

株式会社 大和産業

目次

1. 事業概要	3
1)事業者名及び代表者	3
2)所在地	3
3)責任者及び事務局	3
4)連絡先	3
5)事業活動の内容	3
6)対象範囲	3
7)事業規模	3
8)推進組織図	3
2. 環境方針	4
3. 環境目標	5
4. 主要な環境活動計画の内容	6
5. 環境目標の実績	7
6. 環境活動の取り組み結果とその評価	8
7. 次年度の取り組み内容	9
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	10
9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10

1. 事業概要

1) 事業者名及び代表者名

株式会社 大和産業
代表取締役 鈴田 亨

2) 所在地

本社 〒889-2533 宮崎県日南市星倉1-13-8
資材置場 〒889-2532 宮崎県日南市板敷7852-1

3) 環境管理責任者及び事務局

EA-21責任者 鈴田 貴子

4) 連絡先

連絡担当者 鈴田 貴子
TEL 0987-25-1038
FAX 0987-25-5304
E-mail daiwasangyo@titan.ocn.ne.jp

5) 事業活動の内容

- ・ 土木工事業
- ・ とび・土工工事業
- ・ 石工事業
- ・ 鋼構造物工事業
- ・ 舗装工事業
- ・ しゅんせつ工事業
- ・ 塗装工事業
- ・ 水道設備工事業
- ・ 解体工事業

6) 対象範囲

- ・ 認証登録範囲 全組織 ・ 全活動
- ・ レポートの対象期間 2023年4月～2024年3月
- ・ レポートの発行日 2024年5月1日

7) 事業規模

項目	2021	2022	2023
工事件数	19	28	17
従業員数	16	14	13
床面積(m ²)	60	60	60
総敷地面積(m ²)	288	288	288

8) 推進組織図



2. 環境方針

環 境 方 針

《基本方針》

私たち大和産業は、近い将来深刻化するであろう地球温暖化や大気汚染、そして地下資源の枯渇などを人類共通の課題と認識し、建設(土木)工事での事業活動における環境負担低減を図るため、全社一丸となって自主的・積極的に環境保全に取り組みます。

《活動方針》

1. 我社が事業を展開した結果、過去に与えた環境負荷を把握し、以下の事項について、削減目標及び活動計画を定め継続的な改善に努めます。
 - ① 電気使用量、化石燃料使用量の節減による二酸化炭素排出量の削減
 - ② 建設現場や事業所から排出される廃棄物の削減・リサイクルの促進
 - ③ 節水活動による水使用量の削減
 - ④ グリーン購入促進によるエコ製品の積極活用
 - ⑤ 環境負荷の少ない施工に努める
2. 環境関連法規制を遵守するとともに、行政機関・団体・地域等の要請に協力します。
3. ICTを活用し建設工事の効率化を図ります。
4. 環境保全のための災害ボランティアへの積極参加や、地域での社会貢献活動、生物多様性の保全に努めます。
5. 環境方針は当社全従業員に周知徹底し、関連の協力会社さまへも協力を依頼するとともに、一般に公表します。

改訂日 2021年5月15日
株式会社 大和産業
代表取締役 鈴田 亨

3.環境目標

2009年度から2018年度の環境への取り組みの結果から
2022年度から2024年度の目標値を設定しています。

取組み項目 (目標項目)(単位)		実施区	年 度 別 環 境 目 標			
			基準値	2022年度 (2022年4月～ 2023年3月)	2023年度 (2023年4月～ 2024年3月)	2024年度 (2024年4月～ 2025年3月)
				基準値比3%削減	基準値比3.5%削減	基準値比4%削減
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	事務所 現場 全体	2,762.4	2,679.5	2,665.7	2,651.9	
		68,026.6	65,985.8	65,645.6	65,305.5	
		70,789.0	68,665.3	68,311.3	67,957.4	
	①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	事務所 現場 全体	3,925.5	3,807.7	3,788.1	3,768.5
			5,261.0	5,103.2	5,076.9	5,050.6
			9,186.5	8,910.9	8,865.0	8,819.0
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所 現場 全体	380.2	368.8	366.9	365.0
			834.2	809.2	805.0	800.8
			1,214.4	1,178.0	1,171.9	1,165.8
	③軽油 使用量の削減(L)	現場 全体	24,640.0	23,900.8	23,777.6	23,654.4
24,640.0			23,900.8	23,777.6	23,654.4	
2. 廃棄物の削減				基準値比6. 5%削減	基準値比7%削減	基準値比7. 5%削減
①. 一般廃棄物の削減(kg)	事務所 全体	58.6	54.8	54.5	54.2	
		58.6	54.8	54.5	54.2	
	②. 建設副産物のリサイクル率向上(%)	現場	95%以上			
リサイクル率95%以上 (宮崎県の目標)						
			(総排出－単純焼却－最終処分) 総排出量 × 100			
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (m)				基準値比4%削減	基準値比4. 5%削減	基準値比5%削減
4. グリーン購入の促進 (品)	事務所 現場 全体	11	13	14	15	
		3	4	4	4	
		14	17	18	19	
5. 環境保全の取組推進		全体	4回/年	4回/年	4回/年	4回/年
6. 生物多様性保全推進活動		全体	環境活動計画を徹底して実施することを目標としています。			
7. 環境負荷の少ない施工に努める		現場	環境活動計画を徹底して実施することを目標としています。			
8. 化学物質の管理		現場	環境活動計画を徹底して実施することを目標としています。			

	排出量 (kg-	使用量(A) ×	排出係数 (B)	
購入電力		kWh	0.479	(kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン		L	2.32	(kg-CO ₂ /L)
軽油		L	2.58	(kg-CO ₂ /L)

* 基準値は「2009年度から2018年度の平均

* CO₂排出係数は九州電力の2020年度のものを使用

4. 主要な環境活動計画の内容

取組み項目 (目標項目)(単位)	実施区	2023年度の活動計画	
		活動内容	
1. 二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)			
	①電気使用量の削減 (総電気使用) (kWh)	事務所	①照明を順次LEDに換えていく ②エアコンの節電(手順書参考) ③クールビズ、ウォームビズの徹底
		全体	
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	①エコドライブの徹底 ②相乗りの推進 ③効率よく行動(二度手間をさける)
		現場	
		全体	
	③軽油 使用量の削減 (L)	現場	①エコドライブの徹底 ②低排出型の重機を使用 ③効率よく行動する(二度手間をさける)
		全体	
	2. 廃棄物の削減		
①. 一般廃棄物の削減 (kg)	事務所	①ゴミの分別 ②コピー用紙の裏紙再利用	
	全体		
	②. 建設副産物のリサイクル率向上	現場	①マニフェストの印鑑確認 ②マニフェストの交付年月日及び交付番号の確認 (総排出－単純焼却－最終処分) × 100 総排出量
		全体	
3. 水資源使用量の削減 (年間水資源総使用量) (㎡)	事務所	①水使用時の節水 ②雨水の利用	
	現場		
	全体		
4. グリーン購入の促進 (品)	事務所	①コピー用紙、トイレトペーパー、名刺等再生紙への転換を進める ②商品購入時はエコ対象品の有無確認をして購入	
	現場		
	全体		
5. 環境保全の取組推進	全体	①事務所周辺現場周辺の清掃活動 ②地域ボランティア活動参加	
6. 生物多様性保全推進活動	全体	①河原や森林など決められた場所以外に車を乗り入れしない ②建設現場及び周辺の自然環境を把握する	
7. 環境負荷の少ない施工に努める	現場	①必要以上に掘削や床堀をしない ②残った生コンの適正処分 ③ICTを活用し建設工事の効率化を図る	
8. 化学物質の管理	現場	①購入量の把握と保管管理の徹底	

5. 環境目標の実績

エコアクション21を運用した2023年度（2023年4月～2024年3月）における環境目標に対する実績は次の通りです。

2009年度から2018年度の取り組みの結果から目標値を設定しています。

取組み項目 (目標項目)(単位)		実施区	2023年度 (2023年4月～ 2024年3月)目標	2023年度 (2023年4月～ 2024年3月)実施	達成率	評価 (100%以上○、未満×)	
・省エネルギー (CO2削減)	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO2)	事務所	2665.7	2870.1	92.9%	×	今年度も事務所電気使用が未達であった。エアコン使用によるものと思われる。現場は工事量に左右されるため、達成率は低い。
		現場	65645.6	102285.8	64.2%	×	
		全社	68311.3	105155.9	65.0%	×	
	①電気使用量の削減 (kWh)	事務所	3788.1	3946.0	96.0%	×	
		現場	5076.9	4648.0	109.2%	○	
		全体	8865.0	8594.0	103.2%	○	
	②ガソリン使用量の削減 (L)	事務所	366.9	422.4	86.9%	×	
		現場	805.0	496.7	162.1%	○	
		全社	1171.9	919.1	127.5%	○	
	③軽油使用量の削減 (L)	現場	23777.6	39199	60.7%	×	
2 廃棄物の削減	①. 一般廃棄物の削減 (kg)	全社	54.5	51.7	105.4%	○	水資源使用料以外の項目はすべて目標達成。水の使用量の達成率が低い期間は所道具（ブルーシートや養生マット）の清掃によるもので原因がはっきりしているため特に問題視していない。
	②. 建設副産物の リサイクル率向上	現場	95%以上	99.4%	104.6%	○	
3. 水資源使用量の削減 (m3)		事務所	280.2	266.0	105.3%	○	
4. グリーン購入の促進 (品)	事務所	14.0	17.0	121.4%	○		
	現場	4.0	5.0	125.0%	○		
	全車	18	22	122.2%	○		
5. 環境保全の取組推進 (ボランティア実施回数)		全社	4回以上／年	12	300.0%	○	
6. 生物多様性 保全推進活動		全社	環境活動計画 の徹底実施	環境活動計画 の徹底実施		○	
7. 環境負荷の少ない施工 に努める		現場	環境活動計画 の徹底実施	環境活動計画 の徹底実施		○	
8. 化学物質の管理		現場	環境活動計画 の徹底実施	環境活動計画 の徹底実施		○	

*軽油の燃費は2トンダンプ車、4トンダンプ、ユニックの三台の平均値

*建設副産物のリサイクル率は（総排出量－単純焼却－最終処分）÷総排出量×100

*九州電力の2020年度実績 CO2排出クレジット反映後を使用（0.479kg-CO2/kWh）

*2023年度の現場購入電力、全社灯油、全社LPGを含む二酸化炭素総排出量は107720.9kg-CO2でした。

6. 主要な環境活動計画の取り組み結果とその評価

取組項目	活 動 内 容	取り組み結果とその評価	評価
CO2排出量の削減		活動内容以外にも各自で出来ることを実行したが、今年も目標未達成となった。しかし、各自で積極的な活動の取り組みができていたので評価する。	○
電気使用量の削減	①照明を順次LEDに変えていく	電気使用の削減について、扇風機を併用することでエアコンの設定温度を下げることを防ぎ、ブラインドを下げて日差しを遮ることで室温の上昇を抑えた。また、直射日光が当たらないよう室外機に日よけをするなど環境活動以外にも積極的に取り組んでいた。照明は解体現場からまだ使える蛍光灯を持ち帰ったものを使用しているためLED購入に至っていない。目標達成はできなかったが活動自体は非常によく取り組んでいる。	—
	②エアコンの節電（フィルター掃除、扇風機併用、等）		○
	③クールビズ、ウォームビズの徹底		○
ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底	相乗りはもちろんのこと積極的に取り組んでおり評価する。	○
	②相乗り推進		○
	③効率よく行動（二度手間をさける）		○
軽油燃料使用量の削減	①エコドライブの徹底	今年度は現場のガソリン同様、軽油使用量の削減は目標達成することができなかった。工事内容で軽油使用量は大きく左右されるが今後も燃費の把握等により活動を継続し二酸化炭素軽減に努めたい。よく活動できている。	○
	②低排出型の重機を使用		○
	③効率よく行動（二度手間をさける）		○
一般廃棄物の削減	①ゴミの分別	今年度も目標達成でき、昨年度に引き続きよく取り組めた。	○
	②コピー用紙の裏紙再利用		○
建設副産物リサイクル率向上	①マニフェストの印鑑確認	目標達成できた。建設副産物のリサイクルに関しては、当社は殆どが公共工事であり、設計仕様、再生資源利用計画、利用促進計画等に基づいて厳正に対処している。	○
	②マニフェスト交付年月日、交付番号の確認		○
水資源使用量の削減	①洗い物、手洗い時の節水	現場での雨水利用や日頃の節水により本年は目標達成となった。よく活動できた。	○
	②雨水の利用		○
グリーン購入の促進	①コピー用紙、トイレットペーパー等の再生紙への転換を進める	本年度も目標を達成することが出来た。今後もひきつづき取り組んでいく。	○
	②商品購入時はエコ対象品の有無確認をして購入		
環境保全の取組推進	①事務所、現場周辺の清掃活動	本年度も地域ボランティア活動等に積極的に参加でき、目標を達成できた。	○
	②地域ボランティア活動参加		○
生物多様性保全推進活動	①河原や森林など決められた場所以外に車を乗り入れしない	本年度も目標達成できた。非常によく活動できた。	○
	②建設現場及び周辺の自然環境を把握する		○
環境負荷の少ない施工に努める	①必要以上に掘削や床掘をしない	目標達成。これらの活動も積極的に取り組んでいる。今後も継続して活動していく。	○
	②残った生コンの適正処分		○
	③ICTを活用し建設工事の効率化を図る		○
化学物質の管理	①購入量の把握と保管管理の徹底	該当なし	—

（評価判定基準） 良く活動できた○、出来なかった×、該当なし—

7. 次年度の取り組み内容

取組項目	活 動 計 画 内 容
CO2排出量の削減	
電気使用量の削減	①照明を順次LEDに変えていく
	②エアコンの節電（フィルター掃除、扇風機併用、等）
	③クールビズ、ウォームビズの徹底
ガソリン使用量の削減	①エコドライブの徹底
	②相乗りの推進
	③発電機は省エネタイプを使う
軽油燃料使用量の削減	①エコドライブの徹底
	②低排出型の重機を使用
	③効率よく行動（二度手間をさける）
一般廃棄物の削減	①ゴミの分別
	②買い出し時のマイバック使用
建設副産物リサイクル率向上	①マニフェストの印鑑確認
	②マニフェスト交付年月日、交付番号の確認
水資源使用量の削減	①水使用時の節水
	②雨水の活用（花の水やり）
グリーン購入の促進	①コピー用紙、トイレットペーパー、名刺など再生紙への転換を進める
	②商品購入時はエコ対象品の有無確認をして購入
環境保全の取組推進	①事務所、現場周辺の清掃活動
	③地域ボランティア活動参加
生物多様性保全推進活動	①堤防に生えている特定外来種の駆除
	②建設現場等周辺の自然環境等の状態を把握する
環境負荷の少ない施工に努める	①必要以上に掘削や床掘をしない
	②残った生コンの適正処分
	③ICTを活用し建設工事の効率化を図る
化学物質の管理	①購入量の把握と保管管理の徹底

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

評価見直し事項	今回の評価及び代表者による指示事項	前回の指示への取組結果
①環境目標及び環境活動計画について	全体的に非常に良く活動できている。今後も活動計画以外にも出来ることは取り組んでいく。	前回の指示→活動計画以外にもできることは取り組んでいく。 取組の結果→堤防に生える特定外来生物の駆除を行った。(アレチウリ・オオキンケイギク)
②環境関連法規等のとりまとめ及び遵守状況について	引き続き環境関連法規等は常に最新情報を把握して順守すること	前回の指示→遵守の徹底、管理。関連法規はネットで毎月確認している。又、順守状況も毎月確認評価。
③取り組み状況の確認及び問題点の是正について	今年度も電気、ガソリン、軽油が目標未達成だったが、原因がはっきりしており必然的なことなので特に問題はない。よく活動できている。 2025年度からの中長期計画は基準値を直近のデータを参照して設定する。	なし
④環境コミュニケーションについて(苦情、クレーム、要望対応について)	継続して積極的に取り組んでいく。	ボランティア活動等に積極的に参加できた。
⑤マネジメントシステム全般について	推進組織総務部のエコアクション担当を鈴田誠から鈴田貴子へ変更	なし

9. 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価、結果並びに違反、訴訟の有無

主な環境関連法規

廃棄物処理法、リサイクル法、建設リサイクル法、フロン排出抑制法、家電リサイクル法、小型家電リサイクル法、大気汚染防止法、オフロード法、騒音規制法、振動規制法、浄化槽法

当社の事業に関係する環境関連法規の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また、関係当局からの指摘、及び地域住民からの訴訟もありませんでした。

改訂された関連法規等は、EA21事務局が定期的に日建連のURLで確認しています。現場での遵守状況は、安全パトロール中や安全会議時などチェック表で遵守していることを確認しています。